



デジカメ使えば準備も簡単



授業のねらい・ポイント

- ・既習漢字・熟語の学習。
- ・カンジ博士の出す暗号から、正しい熟語を考える。

授業の展開

電子黒板に書きこみながら児童みんなで教科書に沿って暗号を解読していく。(特に難しい展開は必要なし。誰でも簡単にできるのではないだろうか)

利用した教材・コンテンツ

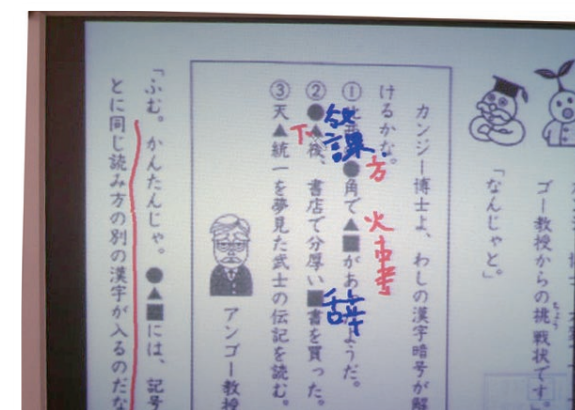
教科書をデジタルカメラで撮影した画像

電子黒板を使う上でのねらい

この単元は教科書内容の説明や解き方の手だてがどうしても必要になってくる。通常なら教科書にある暗号文を黒板に板書したり、模造紙に書き写したりして授業をおこなうのであるが、電子黒板とデジタルの特性を利用することで理解度をより高めた授業となった。

通常、学習する暗号文を提示するには上記のような方法をとるが、この実践では使用する教科書をデジタルカメラで撮影、それを電子黒板上に投影し、そこに児童たちは考えながら解答を書き込んでいった。児童たちが机上で学習に使用している環境と黒板が完全対応するので、つまづいている児童も視覚的な理解度が増し、高い共通理解を促せるのである。

また、教科書をデジカメ撮影して使用するという工夫は高い活用性を持つ。模造紙に教材文を書き写す手間だけでなくスキャナで画像として取り込む手間さえも省けるのだ。口頭での説明だけで児童全員に理解を促すことの難しい場面が多々あると思う。その難しい場面がこのデジカメ撮影法を利用することで提示したい教科書ページや復習プリントの解答、児童のノートなどを一瞬で教材化し、瞬間的にわかりやすい授業へと変えるのである。



電子黒板を使ったことによる効果

- ・デジカメ撮影による必要な資料の一瞬での教材化(なかなか教材研究にとれる時間のない教師にとって、これは非常に大きな利点!! 5分休憩でも簡単に教材が作れます!)
- ・児童の机上にある学習環境(児童が見ている教科書等の学習教材)と同じものを黒板上に表せるのでつまづいている児童にとって視覚的に理解しやすくなり、学級全体へ高い共通理解をもたらすことができる。

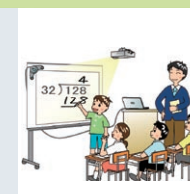
電子黒板の設置面での工夫

常設のリアプロジェクションのため特に必要なし。

～ 西田先生からの一言 ～

子どもの手元にあるものを大きく見せて書き込んだり指示したりするのは、一斉授業の中では大変効果的です。そこにデジタルカメラが生かせるのは、素晴らしいアイデアですね。撮る物がいろいろ広がる応用性の高いアイデアです。マクロの機能を生かせば、絵や表だけを撮ることもできますし手ぶれが気になる時は、なるべく明るい場所にするか、三脚やタイマーを使うことで防げます。





電子黒板の得意技! 大きい教科書にかきこんで



授業のねらい・ポイント

- ・季節に合わせた着方を写真から読み取る
- ・活動にあわせた着方を考える
- ・観察を通して布の性質を理解し、それに適した着方を考える

授業の展開

- ① 教科書にある「夏の暑い日」と「冬の寒い日」の衣服の写真をプロジェクタで拡大提示し、違いを考えさせる。挙手によりあてられた児童は、発見したところに○をつけ説明する。
- ② 「ねるとき」と「うんどうするとき」の衣服の違いを考えさせる。挙手によりあてられた児童が発言し、教師はそれを板書する。
- ③ 2種類の布切れ（綿とその他）が各グループに配布され、空気の通しやすさや半分水につけた布がどのようになるのかを観察させ、綿の特徴を理解させる。

利用した教材・コンテンツ

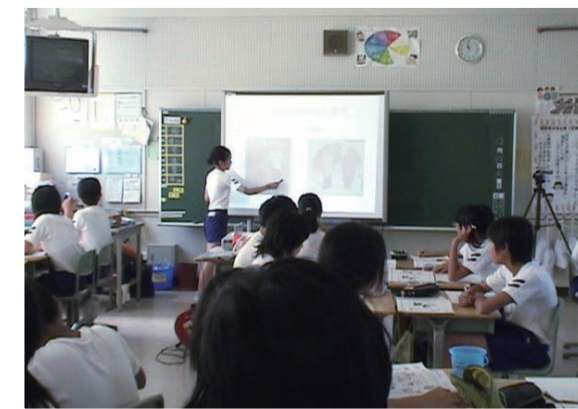
自作コンテンツ（PowerPoint 使用）

電子黒板を使う上でのねらい

- ・教科書の写真を拡大表示し、見やすくする。
- ・またその写真上に、児童が発見した箇所に○を付けさせ、気づきを全員で共有する。

電子黒板を使ったことによる効果

○をつける発表は、最初は躊躇する児童が多かったが、1人2人と発表が進むと、手を挙げる子が増え、気づきが全員に共有されたようだ。



～ 上先生からの一言 ～

児童のしている教科書の重要部分を拡大表示することは、高い共通理解を促す効果があります。「教科書のP〇〇の右上の写真を見て～」と指示をしても全員がそこを見ていることをなかなか確認しづらいものです。ですが電子黒板に投影するだけで全員が顔を上げてみているかの確認が出来ます。またテレビっ子世代のせいか、子どもたちの映像への注目・関心度は高い気がします。そして、投影するだけでなくそこに大きく何度でもさまざまに書き込めるのが電子黒板の得意技ですね!私の担任する子どもたちも、電子黒板上の教科書資料に書き込むことが大好きです。大きな教科書にダイナミックに書き込むことってなかなかないですからね!

